

2022年度教育研究活動報告用紙(様式9)

氏名 岡田和敏	職名 教授	学位 修士(社会学)(佛教大学 1984年)
---------	-------	------------------------

研究分野	研究内容のキーワード
社会福祉学	保健医療ソーシャルワーク

研究課題
保健医療ソーシャルワーク実践における障害者、高齢者、難病患者の諸問題に関する研究

担当授業科目
保健医療と福祉 (2年 前期) 福祉行財政と福祉計画 (3年 前期) 社会福祉特講 (4年 後期) 相談援助演習 I (1年 後期) ソーシャルワーク演習 (1年 後期) 相談援助演習 IV (3年 前期) 相談援助演習 V (3年 後期) ソーシャルワーク実習指導 I (2年 前・後期) 相談援助実習指導 II (3年 前・後期) ソーシャルワーク実習 I (2年 後期) 相談援助実習 (3・4年 前・後期) 専門研究 I (3年 集中講義) 専門研究 II (4年 集中講義) 社会福祉概説 (栄養学科 Bクラス 2年 後期) 社会福祉概説 (栄養学科 Aクラス 2年 後期)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
授業科目名【保健医療と福祉】 医療がクライアントにとっても自分自身にとっても身近な問題であることを先ず認識し、医療保険制度の仕組みや年金制度、介護保険制度など社会福祉との関係性について基礎的な理解ができるよう説明した。医療の場や広く社会において実際に起きていることを説明するとともに、人々が抱える生活課題に対して、医療機関において社会福祉士(ソーシャルワーカー)が専門職として、如何に重要な役割を担っているかを講義した。
授業科目名【福祉行財政と福祉計画】 社会保障制度を構築するうえで、必要になるのが財源である。福祉行財政の実際と実施体制について解説し、福祉行政の骨格や法制度、社会福祉の基礎構造改革、支援体制の実際を取り上げて解説した。 また、各種福祉計画の意義や目的、主体、方法、留意点について説明し、計画策定の実際を解説した。

<p>授業科目名【社会福祉特講 II】</p> <p>『福祉行財政と福祉計画の動向』 社会福祉の領域、特に福祉行財政と福祉計画における制度・政策の最新動向について講義を行った。</p> <p>『保健医療施策の動向』 保健医療機関に社会福祉士国家資格を持つ医療ソーシャルワーカーがいる意味と実践活動する際に必要となる知識の習得を目指した講義を行った。</p>
<p>授業科目名【 ソーシャルワーク演習 】</p> <p>ソーシャルワークの知識と技術に係る他の科目との関連性を理解したうえで、1. ソーシャルワーカーとして求められる基礎的な能力、2. ソーシャルワークの価値規範と倫理、3. ソーシャルワークの展開過程において用いられる知識と技術について、実践的に学ぶことを基本として、学生とのコミュニケーションを取りながら学ばせた</p>
<p>授業科目名【 相談援助演習 IV 】</p> <p>問題の実情、社会的把握、援助の過程、アウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発など相談援助の方法、技術について、保健医療ソーシャルワークの事例を用い、何を考え、調べ、援助をどのように展開して行くかについての視点や援助の実践について考えさせる形で学ばせた。</p>
<p>授業科目名【 相談援助演習 V 】</p> <p>地域福祉の問題の実情、社会的背景、援助のプロセス、地域住民へのアウトリーチ・ニーズ把握、地域福祉計画、サービス評価についてを地域福祉の基盤と開発に係る実践事例をもとに学ばせた。</p>
<p>授業科目名【 ソーシャルワーク実習指導 I 】</p> <p>医療領域を担当。他の領域と指導の流れは同じであるが、特殊性と専門性をもつ医療領域において、ソーシャルワークを如何に展開していくかイメージ出来るよう資料やビデオを活用し講義した。</p>
<p>授業科目名【 相談援助実習指導 II 】</p> <p>他の社会福祉領域と実習する上では特別ではないが、医療機関の特殊性から、現場実習であってもより実践場面で活動が出来るよう、興味、疑問、不安などに対して個別に指導した。配属実習については一人ひとりの特性に応じ配属に繋げた。</p> <p>コロナ禍により実習が本来の実習期間ではなく時期をずらし実習可能となるよう実習機関と相談し個別に対応した。</p>
<p>授業科目名【 ソーシャルワーク実習 I 】</p> <p>初めての实習で、それまでは医療機関との関りは患者としてであったものから医療機関の内側から患者と関わり、医療ソーシャルワーカーと云う職種をある程度の理解はできていても、直接に接することでのギャップを経験する。新カリキュラムで実施される2年次での実習に不安と挫折感を感じないよう具体的で平易な指導を心掛けた。</p>
<p>授業科目名【 相談援助実習 】</p> <p>学生の希望を聞くとともに個々に配慮しながら配属先を決めた。また、各医療機関のソーシャルワーカーとの調整を行い、実習生に配慮した指導を行った。</p> <p>配属先が新型コロナ感染者を出し受入れが中断することがあった。学生たちには、医療機関の特殊性から起こり得ることであると説明し不安なく実習が終了できるよう実習先指導者と調整しながら実習を行うことが出来るよう指導した。</p>
<p>授業科目名【 専門研究 I 】</p> <p>一年をかけ、自分が気付いたことを研究に結び付けるように指導した。図書館でのガイダンスも受講させ論文、文献、資料などの検索の仕方を学ばせた。適宜、参考となる資料は提供し学ぶ機会も持った。</p>

授業科目名【 専門研究 II 】

今年度は、コース変更の学生を担当することになり、学生と面談し実習などこれまでに学んで来た事から本人の考えを聞き研究へと向かうことが出来るよう指導した。

授業科目名【 社会福祉概説 B, A 】

社会福祉の理論、制度・政策、援助技術などの基礎知識について、さらに、社会福祉の各領域の動向及び現状についても解説した。

専門職の連携と云うが、医療、福祉領域での栄養士、管理栄養士の役割は他の専門職とともに重要な存在であり、人に関わる専門職として社会福祉の知識と技術は重要なものであると認識できるよう指導した。

学 会 に お け る 活 動

所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本社会福祉学会	会員	1990年10月～現在に至る
福岡県医療ソーシャルワーカー協会	会員	1985年4月～現在に至る
佐賀県医療ソーシャルワーカー協会	会員	1998年6月～現在に至る
日本医療社会福祉協会	会員	1998年4月～現在に至る
日本医療ソーシャルワーカー協会	会員	2010年9月～現在に至る
日本キリスト教社会福祉学会	会員	2001年4月～現在に至る

2022年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
(翻訳)				

2022年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(学会発表) (その他)				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社会における活動等		
団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 期 間 等
北九州市民生委員推薦委員会	委員	2020年4月1日～2023年3月31日
北九州市福祉有償運送運営協議会	会長	2005年8月～現在に至る
北九州市小倉南区社会福祉協議会評議員	評議員	2020年4月1日～2023年3月31日
北九州市社会福祉協議会ふれあいネットワーク第三者委員会	委員	2022年5月～2023年3月31日
公益社団法人北九州市障害福祉ボランティア協会	理事長	2013年5月～現在に至る
社会福祉法人 北九州精神保健福祉事業協会評議委員会	評議員	2021年4月1日～2024年3月31日
社会福祉法人孝徳会苦情解決委員会	第三者委員長	2003年4月～現在に至る
入所判定委員会	委員長	2003年4月～現在に至る
社会福祉法人 敬寿会	理事	2021年6月～2023年6月
特定非営利法人 生活支援館「パートナー」	理事	2002年3月～現在に至る

社会福祉法人 療養介護事業所「ひなた家」	理事	2021年6月15日～2023年6月14日
社会福祉法人 みぎわ会	理事	2022年4月5日～

学 内 に お け る 活 動 等 (役職、委員、学生支援など)

- ① 附属図書館長 2022年4月1日～2024年3月末日
- ② 図書委員会委員
- ③ 研究紀要委員会委員
- ③ ITK (イラスト制作) 顧問